



タイトル「**2021年度スポーツ科学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**実務経験のある教員による科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS3624		
科目名	武道論演習		
担当教員	田中 光輝		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	水 2		
講義室	1307	単位区分	選,選必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門応用		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E〔学識・専門技能〕 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し 利用することができる。 DP3-G〔状況把握力・判断力〕 自らの置かれた状況、及び自己が帰属する 集団の内外の状況を的確に把握し、適切に 対応することができる。 DP3-H〔論理的思考力・批判的思考力〕 理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排 除するための内省をもって、問題・課題を 合理的に解決することができる。 DP4-F〔探究力・課題解決力〕 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP4-I〔理解力・分析力〕 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンレブリック（C R）との関連 F 1 探求と論拠（5 %） F 2 問題解決（1 5 %） G 1 状況把握（4 5 %） I 1 理解・分析と読解（2 0 %） J 2 創造的思考（2 0 %）		
教員の実務経験	相撲指導者として、高校・大学・社会人選手を対象に武道に関わる指導を行ってきました。本授業では、武道の学理研究について、これまでの知見と経験を活かして、人格の陶冶に努め、術理研究・心身の鍛錬法と常に節度ある態度を保持することについて講義します。（第2回・第6回）		
成績ターゲット区分	■能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期～4 定着期		
科目概要・キーワード	本講義では、武道論で学習した武道の発達史、武道の分類と特性、稽古と修行、稽古の内容と方法、形、審判法などについて資料・視聴覚教材等を用いて学習します。さらに、武道の精神性をスポーツとの比較から学習します。これによって武道全般に通底する特性を理解し、武道を広い視野で捉え、自らの実践やコーチングに役立てることを目的とします。授業の形態は、調査・研究・発表を中心とした演習形式により行います。なお、授業を補完・代替するためオンライン授業（ライブ配信型）を取り入れます。 ■キーワード・武道の精神、歴史、礼法		

授業の趣旨	■副題 武道の発達史、武道の分類と特性、稽古と修行、稽古の内容と方法、形、審判法などについて資料・視聴覚教材等を用いて、コーチングに必要な自身の競技の歴史や、フェアプレー・スポーツマンシップの重要性について探求しましょう。 ■授業の目的 日本の伝統文化である武道の概念・歴史・特徴等について学習し、積極的に問題解決に取り組み、自身の専門競技やコーチングに役立てることを目的とします。 ■授業のポイント 資料・視聴覚教材から、自身の競技に役立つよう「学習記録ノート」を作成し、反省的議論を通じて、フェアプレー・スポーツマンシップについて検討することができる。	
総合到達目標	■武道の本質と歴史について、基本的知識を説明することができる。 ・日本伝統文化である「武道」について正しく理解することができる。（第1回～第3回） ・武道の運動特性、文化特性、教育特性を正しく理解し、武道指導及び自身の専門競技の指導を実践することができる。（第4回～第7回） ・自身のスポーツ実践やコーチングに役立つ知識を関連づけて、様々な環境下での意見交換や討議をすることができる。（第9回～第14回） ・本授業での学習内容を基に「武道」の役割を理解し、日本伝統文化のあり方について考察し、その内容をまとめることができる。（第8回・第15回）	
成績評価方法	■リアクションペーパー（学習記録ノート）8回（60%）適用ループリック F1・G1・I1・J2 （評価の観点）授業内容を理解しているか、自身の考えを述べているかを評価します。 （フィードバックの方法）次回授業時にまとめた内容を解説します。良い内容のものを紹介し、全体で共有することで次回の省察に繋げる。 ■授業内レポート2回（40%）適用ループリック F2・G1・I1・J2 （評価の観点）授業で学修した判定競技種目の特性を生かして、自らの競技実践への関連付けやコーチングへの示唆が出来ているかを評価します。 （フードバックの方法）実例を紹介することで、自身の競技実践やコーチングへの示唆について確認する。	
履修条件	武道論(SSCS2333)を履修していること。	
履修上の注意点	特にありません。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ 武道論演習について ②授業概要 授業のテーマや内容、スケジュール、評価方法について確認する。判定競技論の概要やその内容について概観する。自身の競技及び判定競技への関心を育てる（E 1・F1）。 ③予習（120分） シラバスを読み、授業内容について準備しておく。 ④復習（120分） 武道論演習の概要と内容について、自身の考えを完成させておく。
	2	①授業テーマ 武道とスポーツ ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて「武道とスポーツについて」講義を行う。スポーツの特性である相手を尊重する謙虚な心と、自己の感情を抑制の「克己心」について理解を深める（G1、I1、J2）。学習者は本時の学習記録を課題シートで提出する。 ③予習（120分） 授業テーマに該当する部分について調べ、確認と準備をしておく。 ④復習（120分） 授業の内容をまとめ、自身の学習記録ノートを整理しておく。
	3	①授業テーマ 武道の誕生と発展 ②授業概要 武道の誕生とそ変遷を探り、バイオレンス的部分と倫理的部分について、演習を通して理解を深める。（F2、G1、I1）担当者の実務経験を踏まえて、演習の内容やポイントなどの観点についてアドバイスをします。 ③予習（120分） 授業テーマに該当する部分について調べ、確認と準備をしておく。

	④復習（120分） 授業の内容をまとめ、自身の学習記録ノートを整理しておく。
4	①授業テーマ 武道の精神 ②授業概要 人格形成の要素を多く含む武道精神は、スポーツの公正なプレーを尊重し、相手選手を尊重し賞賛する基本姿勢にある。ここではその内実について議論する（G1、I1、J2）。学習者は本時の学習記録を課題シートで提出する。 ③予習（120分） 授業テーマに該当する部分について調べ、確認と準備をしておく。 ④復習（120分） 授業の内容をまとめ、自身の学習記録ノートを整理しておく。
5	①授業テーマ 練習と稽古の違い ②授業概要 競技力向上には心身を鍛え、技術を習得するための鍛錬が欠かせない。練習と稽古の言葉の意味について議論する（G1、I1、J2）。学習者は本時の学習記録を課題シートで提出する。 ③予習（120分） 授業テーマに該当する部分について調べ、確認と準備をしておく。 ④復習（120分） 授業の内容をまとめ、自身の学習記録ノートを整理しておく。
6	①授業テーマ 五輪書の教訓 ②授業概要 宮本武蔵の著である「五輪書」から、兵法観、武芸観について担当教員が講義を行う。技術や勝負の根本原理について学び、それらについて議論をする（F2、G1、J2）。 ③予習（120分） 授業であつかう宮本武蔵について調べておく。 ④復習（120分） 議論の内容をまとめて整理しておく。
7	①授業テーマ 武道教育の変遷 ②授業概要 武道教育に関する内容は相当古く、様々な変化から、現在の技能と態度に構成された新し学び方になっている。その変遷内容について議論する（G1、I1、J2）。学習者は本時の学習記録を課題シートで提出する。 ③予習（120分） 授業テーマに該当する部分について調べ、確認と準備をしておく。 ④復習（120分） 授業の内容をまとめ、自身の学習記録ノートを整理しておく。
8	①授業テーマ 武道論演習の中間まとめ ②授業概要 これまで学習してきた武道論演習について討議会を行い内容を整理して、自分の考えと授業内容を確認する（G1・I1）。模範解答の説明を含め、自身の専門競技やコーチングについて復習を行ないます。学習者は中間レポートを提出する。 ③予習（120分） これまでの内容をまとめておく。 ④復習（120分） これまでの授業内容を振り返り、自分の考えを再検証するとともに、今後の学習方針に向けた内容をまとめておく。
9	①授業テーマ 武道人口と各競技人口 ②授業概要 スポーツ人口の人口規定によって結果は異なるが、種目別データから増加している競技より、いずれも減少か横ばいの状態である中で、自身が専門とする競技人口について議論する（G1、I1、J2）。 ③予習（120分） 授業テーマに該当する部分について調べ、確認と準備をしておく。

		④復習（120分） 議論の内容を整理しておく。
	10	①授業テーマ 武道の国際化 ②授業概要 武道の国際化について考える。スポーツの発展と国際化の在り方や、スポーツが直面している課題等を取り上げ、それらについて議論する（G1、I1、J2）。 ③予習（120分） 授業テーマに該当する部分について調べ、確認と準備をしておく。 ④復習（120分） 議論の内容を整理しておく。
	11	①授業テーマ 武道指導（競技指導） ②授業概要 スポーツの普及振興にとって、指導者の果たす役割は極めて重要である。指導者の資質と指導力について議論する（G1、I1、J2）。学習者は本時の学習記録を課題シートで提出する。 ③予習（120分） 授業テーマに該当する部分について調べ、確認と準備をしておく。 ④復習（120分） 授業の内容をまとめ、自身の学習記録ノートを整理しておく。
	12	①授業テーマ 武道の技術・戦術 ②授業概要 スポーツの技術・戦術に不変なものはない。ここでは技術・戦術の研究開発について議論する（G1、I1、J2）。学習者は本時の学習記録を課題シートで提出する。 ③予習（120分） 授業テーマに該当する部分について調べ、確認と準備をしておく。 ④復習（120分） 授業の内容をまとめ、自身の学習記録ノートを整理しておく。
	13	①授業テーマ 武道学の研究と方法 ②授業概要 武道を志す、習得するということは、武道の輪郭を明らかにし、疑問や問題を解決する道筋（方法）が必要である。ここでは自身の競技力向上と方法について討議をする（G1、I1、J2）。学習者は本時の学習記録を課題シートで提出する。 ③予習（120分） 授業テーマに該当する部分について調べ、確認と準備をしておく。 ④復習（120分） 授業の内容をまとめ、自身の学習記録ノートを整理しておく。
	14	①授業テーマ 武道スポーツの将来 ②授業概要 これからの武道スポーツはどうあるべきかを議論する（G1、I1、J2）。学習者は本時の学習記録を課題シートで提出する。 ③予習（120分） 授業テーマに該当する部分について調べ、確認と準備をしておく。 ④復習（120分） 議論の内容を整理しておく。
	15	①授業テーマ 武道論演習のまとめ ②授業概要 これまで学んできた講義内容を振り返り、まとめレポートを作成する（F2、I2、I3）。学習者はまとめレポートを提出する。 ③予習（120分） これまでの授業内容をまとめておく。 ④復習（120分） これまで作成した学習記録ノートやレポートについて、今後の学修に役立つようまとめておく。
関連科目		武道論(SSCS2333)

教科書	指定ありません。
参考書・参考URL	特にありません。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 開講時に告知します。
研究比率	



Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.